

生活支援CNの報告

第2層

中央東包括圏域（道泉・深川・古瀬戸）

地域の状況（道泉・深川・古瀬戸）

人口:9,799人

老年人口:3,607人

高齢化率:36.8%

（令和元年10月1日現在）

＜地域の特徴＞

人口は市内で一番少ないが高齢者人口率は市内で2番目に高く、高齢者独居世帯率は市内で一番高い。古くから居住する住民が多いが、地域のつながりが希薄で少子化も進んでいる。

生活道路は道幅が狭く、山に沿って住宅が立ち並んでいるところもあり、坂道が多い。



主な活動① 各種団体の活動の把握

- ▶ 地区社協や「よりどころ」などが実施しているサロンや集まりに伺い、買い物や移動、地域の居場所などの情報収集を行う。



主な活動 ② 地域の住民の声から

▶ 古瀬戸地区 買い物支援

H30年度は、やすらぎ会館の大型バスを使用し、実施。

【地域の声から】

- ・ バス停までが大変で行けない。
- ・ バス停から買い物した後の荷物を持って帰れない。

→ 今年度は**小型のワゴン車**を使用し実施。

- ・ 地区の選定 → 買い物に困っている人の身近まで！！
- ・ 周知の強化 → 自治会の回覧板を活用して



主な活動 ② 地域の住民の声から

【実施してわかったこと】

- ・ 困っている人の声は多いが参加がない。
- ・ 回覧を見ていない。

【聞き取りの声】

- ・ 週1回家族が買い物に連れて行ってくれる。
- ・ 家族や知り合いが買ってきてくれる。
- ・ 生協を利用している。 ・ 今は困っていないが運転免許証返納後が困る。

【検討課題】

- ・ 周知の方法。 ・ 本当に困っている人のニーズに応えるために。



主な活動 ③ 地域包括支援センターとの情報共有

【地域で開催しているサロン情報】

ゴールドエイジの協力で行う えんごろサロン
→ 担い手がない。

【独居高齢者】

- ・ 認知症の疑い
- ・ 重度化してからの発見
- ・ 自分からSOSが出せない



→ 地域のつながりの必要性
地域支え合い会議に向けて

